

教員活動報告書

所属学部 経営 学部

氏名: 吉井 康雄

(教授・助教・講師)

提出日 2007 年 5 月 25 日

自己総合評価

A B C

総合評価

A B C

1. 担当コマ数	2. 休講回数と理由/補講回数		3. 研究会、学会等での研究報告 (研究会名、学会名、報告日)	4. 文部科学省ほか、学 外の 研究賞金獲得	5. 過去5年間の著作、論文、 研究ノート等の公表数			自己 評価	
	学部	大学院			回数	その理由	著作		論文
1 教育活動	経営情報論(木) 情報VE(木) 情報NW論 I (土) 情報NW論 II (土) 卒業研究(通年) 演習 I (秋) 演習 II (春) 演習 III (秋)	大学院 希望者なし	休講 (8) 補講 (25)	その理由 5月6日 CMPプロジェクトによる休講、情報NW論 I (補講、7月18日) 5月18日 SPSS Data Mining Day 2006セミナー参加のため休講、情報 VE(7月18日)、卒業研究(6月28日)、演習 II (5月11日)、演習 I (12月10 日)、演習 III(7月11日)、卒業研究(1月18日)、演習 I (12月10 日)、演習 III(12月14日)、卒業研究(1月18日)休講 10月18日 CVISOの中で休講、経営情報論(12月14日)、演習 I (12月10 日)休講とは無関係の補講 演習 II 6月24日3コマ相当、7月2日5コマ相当 演習 I 12月10日5コマ相当	VEのより深い理解を図るために、VEリーダー育成の範囲を情報VE受講生にまで拡張 ・演習 II のゼミ生を主に、情報VE受講生に対し、VEL受験にむけて集中講義：6月24日と7月2日の2日間 情報ハリニュー・エンジニアリング受講生1名が第20回VEリーダー認定試験に合格 ・演習 I のゼミ生(2年生)、演習 III のゼミ生を対象にVEL受験にむけて集中講義：12月10日(日)終日 演習 I のゼミ生：1名合格 演習 III のゼミ生：1名合格 ＜要望＞ VEは意思決定において要求される情報をその裏面に要するエネルギーとの対比で行う体系化された優れた経営 管理手法であり、経営学部生には早く受講せたく考えており、是非、1年生から受講できるような検討してくださ るようお願いいたします。	0	5	4	A B C
2 研究活動	1. 今後4年間の研究計画と2006年度の業績 (各400字程度、別添のこと) [注] 1) ライフスタイルの研究を行う。 ①携帯電話とインターネットショッピングについてWebアンケート 調査の分析 2) 日本企業とSweden企業の環境への取り組みについて企 業訪問を実施、環境VE展開のための仮説構築を行う ・日本：リコー(07.2.28)など ・スウェーデン：Volve, IVL (07.3.9 to 17) など ・環境VE展開の骨子となる基本的な考え方について論文を 発表 「環境配慮型VEへの方法論に関する提案」 (社)日本VE協会 2006年11月号、pp85-43。 2. 研究会、学会等での研究報告 (研究会名、学会名、報告日) CMP研究会(科研研) 日時：2006年5月21日 場所：同志社女子大学 テーマ：循環型社会形成にむけての家電業界の取組 日時：2007年3月25日 場所：同志社女子大学 テーマ：VOLVOの環境への取組 論文：「環境配慮型VEへの方法論に関する提案」 (社)日本VE協会2006年11月号、pp85-43。 「マイルズ賞受賞企業北越工業株式会社訪問記」 ハルニュー・エンジニアリング、2006年5月、pp35-38。 VEインタビュー 「黒澤登さん(元・日新電機株)へのOQ&A」 ハルニュー・エンジニアリング、2006年9月、pp2-3。			3. 学会役職名 日本VE協会参与 VE会報誌編集委員長 CMC委員長 マイルズ賞審査委員など	4. その他、評価を望む点 1. 出張講義・公開講座 2. その他、評価を望む活動 検査審査委員長として適切に処置、事務局 長および委員から指導力に感服される(～10月 18日) VE京滋セミナー(2006年10月6日)運営委員 第38回VE関西大会(2007年2月16日)運営委員	A B C			
3 大学の 管理 運営	1. 教授会出欠状況 ・出欠の記録は公表されるべき (現在の確認方法では不透明) 5月28日、検査審査員任命式のため欠席 7月07日、身内の入院による欠席(代理人： 渡辺教授) 2007.3月9日、研究活動による欠席(代理 人：渡辺教授)	2. 大学行事への参加 ・項目の明示が必要 ・その項目のアンケートベースは公表されるべ き ＜参加状況＞ 入学式、卒業式 マナーアップキャンペーン(4月20日) 新生キャンパス(4月、1泊2日) イベントスケジュール編入学面談(10月8日) 公募入試試験監督(11月23日、24日)	3. 各種委員活動 ①各種委員は学部から指名されていません ②今まで公募試験問題出題を担当していたが、担 当を外れるようアドバタイズを受け、外れる。 (NHKの政教回選として、人間科学部および経済学 部の先生がアドバタイズに研究委にみえる。 樋口副学部長の協力がないものがあるという教 授会で発言)	4. その他、評価を望む点 1. 出張講義・公開講座 2. その他、評価を望む活動	口. 社会貢献	A B C			

(注)4年間の研究計画期間中は、計画に即した毎年の研究実績を報告すること。研究計画変更時は改めて4年間の計画を提出すること。